長久手市行政評価票

事業番号	42	事業の名称	消費者行政事業	担当部署	部：くらし文化部	課：産業緑地課

基本方針	(3)人がいきいきとつながるまち	分野別項目	(17)安心で安全な消費生活を支える	施策の進め方	(2)消費者被害の予防	フラッグ		フラッグ項目	

事業の概要	適切な情報の提供や相談業務の充実により、消費生活における被害防止を図り、市民一人一人が正しい知識を持ち、安心で安全な消費生活をおくることを目指すことを目的に、消費生活相談窓口や消費生活に関する講座を開催し、市民の消費生活の知識の向上を図り、消費生活に関する被害を防ぐ。
他市町の実施状況（近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載）	近隣市町村も消費者生活相談窓口を開設している。市町村の規模によって、毎日開催している市町村や週に1．2回開催している市町村がある。

事業期間	事業開始年度	－	終了（予定）年度	－
事業の対象（だれ、何に対して）	市民			
事業の意図（対象をどのような状態にしたいか）	市民の消費生活に関する知識の向上を図り、消費生活における被害を防ぐ。			

総事業費	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算
総事業費（単位：千円）	750	720	1,704	868	30
うち 一般財源	750	720	912	868	30
うち 国費・県費	0	0	792		
うち 地方債	0	0	0		
うち その他	0	0	0		
受益者負担額	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

	事業を構成する事務事業	目的：対象（だれ、何に対して）	目的：手段（いつ、どのような手段を使って）	目的：意図（対象をどのような状態にしたいか）	事務事業の実施結果	成果：成果指標	成果：H25実績 / H26実績 / H26目標値	単位	成果指標の目標値設定の根拠	事業費（単位：千円）：H25予算 / H26予算 / H27予算	事業費：H25決算 / H26決算	H26決算の主な内訳（単位：千円）	評価：評価 / 事業規模 / 事業費	評価の説明
①	消費者生活相談事業	市民	4月～ 7月～ 10月～ 1月～ ●●●●●●●●●●●● 毎月6回開催することで	市民の消費者被害を防ぐ	163件	相談件数	159 / 163 / 159	件	前年実績	720 / 1,644 / 0	720 / 868	消費生活相談員報償費 868	A / － / －	目標を達成したため、ひきつづき、規模を維持し実施していく。（なお、平成27年度に市民相談室に事業移管したため、平成27年度予算は0となっている）
②	消費者生活講座事業	市民	●（市民の消費生活知識向上のための講座を開催することで）	消費生活に関する知識を学ぶ	1回	受講者アンケートの満足度	90 / 80 / 80	%	多くの受講者に満足してもらえる内容に設定した	30 / 60 / 30	0 / 0	－	A / 維持 / 維持	アンケートの結果、目標値を下回ったが、多くの受講者が満足したという結果であったため、ひきつづき、規模を維持し実施していく。
③	多重債務相談事業	市民	●●●●●●（愛知県司法書士会名古屋支部の協力により、多重債務者の相談会を開催することで）	市民の消費者被害を防ぐ	1件	相談件数	3 / 1 / 6	件	前年実績	0 / 0 / 0	0	－	B / 維持 / －	目標値を下回ったため。
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容（H27以降に実施する内容）
③	多重債務相談事業	窓口やHPで多重債務相談を実施していることを積極的に広報する。

H27以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要